

登録コード	E5010900	開講年度	2026				
授業科目	多文化教育方法論					担当教員	徳井 厚子
英文授業名	Introduction to Multicultural Education					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生	2-4年
講義室	教育N302講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				多文化社会について理解するための知識を身につけるとともに公共的使命感や倫理観を身につける		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				外国人児童への現状と教育方法について身につける		
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	現在、国内において外国籍住民の数が増加しつつあり、地域、学校で外国人住民や外国人児童への支援が重要なテーマとなってきた。当授業では、まず、多文化化する日本の現状や在住外国人の抱える悩みについて学び、外国人の支援の方法として、言語サービス、やさしい日本語について学ぶ。そして、近年増加している外国籍児童生徒の現状や適応、JSLカリキュラムなどの指導方法について学ぶ。また、日系ブラジル人についての歴史についても学ぶ。						
(5)授業計画	第1回：多文化化する日本の現状 第2回：在住外国人の抱える悩み 第3回：言語サービスとは何か 第4回：地域の言語サービスの調査 第5回：やさしい日本語とは何か 第6回：やさしい日本語への書き換え実習 第7回：言語サービスとやさしい日本語 まとめ 第8回：集住地域の外国籍児童生徒の教育事例 第9回：外国籍児童生徒の現状と適応 第10回：外国籍児童生徒の支援 第11回：JSLカリキュラムとは何か 第12回：JSLカリキュラムの作成 第13回：日系ブラジル人の歴史 第14回：外国人児童生徒支援サイトの調査 【遠隔等】 第15回：まとめ アンケート実施						
(6)成績評価の方法	授業のねらい の到達度をはかる課題 30点 授業のねらい の到達度をはかる課題 30点 授業のねらい の到達度をはかる最終レポート 40点 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	レポート、ふりかえりシートにおいて1)授業内容を理解しているか 2)問題点や課題を見いだしているか 3)考察を深めているか 4)オリジナリティがあるか。上記のうち1項目を満たしていれば「その水準にある」2項目を満たしていれば「やや上にある」3項目を満たしていれば「かなり上にある」4項目を満たしていれば「卓越している」						
(8)事前事後学習の内容	毎回、授業後に「感想」をeAlpsにアップしてもらいます。以下の観点に留意してまとめること。振り返りシートは以下の観点に留意してまとめること。1)授業の内容をふまえること 2)授業から自身がどのように考えたか明確にかくこと 3)多文化社会への課題と関連させること						
(9)履修上の注意	授業前に提示した課題を考えておくこと。レポートは期限を守ること。引用した文献がある場合は(HPも含めて)必ずその引用元を明記すること。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	相談・連絡は以下のアドレスにメールで連絡すること メールアドレス tokuias@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	指定しない						
【参考文献】	適宜指示する						